

子どもを守る「フィルタリング」は「保護者の責任」

青少年が使用するスマートフォンを購入する場合は、販売店において、年齢確認や書面等でのフィルタリングの説明後に、スマートフォンにフィルタリングソフトウェアを設定するようになりました。

販売店



フィルタリングについて説明します！

- ① **青少年確認**
契約締結者、携帯電話端末の使用者（締結者が成人の場合）が18歳未満が確認します。
- ② **フィルタリング説明**
・青少年有害情報を閲覧する恐れ
・フィルタリングの必要性・内容を書面等で説明します。
- ③ **フィルタリングソフトウェアやOSの設定**
販売時にフィルタリングを使えるようにします。

保護者

- ① 18歳未満が使用者である旨を申し出ましょう。
- ② フィルタリングの説明を受けましょう。
- ③ フィルタリングを使えるようにしてもらいましょう。

※フィルタリングを利用しない場合は、福井県青少年愛護条例により、理由を記載した書面等の提出が必要です。

●携帯電話事業者が提供するフィルタリングサービス

携帯電話事業者のフィルタリングサービスの名称が「**あんしんフィルター for OO**」に統一されています。「中学生モード」「高校生モード」など、年齢や使い方、判断力などに応じたレベルを選択するだけで、より安全な環境で利用できます。

キャリア	Android			iOS		
	web	無線LAN	アプリ	web	無線LAN	アプリ
docomo						iOS 機能制限
au						
SoftBank						
あんしんフィルター for (キャリア名、ブランド名) (例：あんしんフィルター for docomo)						

●情報セキュリティ会社が提供するフィルタリングサービス

MVNO(格安スマホ) やタブレット端末、パソコンなど、様々なインターネット接続機器で利用可能なフィルタリングアプリやソフトが市販されています。

LINE などやりたいことができなくなるって本当？


携帯電話事業者や OS (Android / iOS) によって、**LINE などがフィルタリングの制限対象**になる場合があります。

しかし、**個別のアプリやサイトごとの設定ができる**ので、フィルタリングの制限対象になっているアプリやサイトでも、**保護者が許可することで利用が可能**になります。お子様の利用状況や成長段階、スキルに応じて、設定を調整してあげながら使うことができます。

使い過ぎが心配…。利用時間を制限するには？

多くの保護者の方が心配している「**使い過ぎ**」の問題。ゲームや動画視聴、無料通話アプリなど、スマホには子どもたちが夢中になる機能やサービスがいっぱい。

使い過ぎないようにお子様に適切な声かけをするとともに、**アプリの使用などを時間帯で制限する機能**も活用して、使い過ぎの防止にお役立てください。



フィルタリングサービスの詳細や具体的な設定方法などについては携帯電話取扱店に直接お問い合わせいただくか、各社ホームページなどを参照ください。

家族でルールを作ろう～ “使い始め” が肝心!!～

犯罪やトラブルから子どもたちを守るために、フィルタリングは有効な手段になります。しかし、フィルタリングは万能ではありません。特にお子様が**スマホを使い始めるタイミング**で、お子様と話し合い、一緒に考えながら、スマホやネットの使い方について**家族のルールを作ることが**大切です。

【ルールづくりのポイント!】

- ★使用する「**時間**」 (例) 夜9時以降は使用しない。1日1時間まで。
- ★使う「**場所**」 (例) 自分の部屋には持って行かない。
- ★利用する「**場合(状況)**」 (例) 食事中は利用しない。勉強中は使わない。

